

## 11.12地公労・自治労総決起集会

本日、福岡県庁前「東公園 亀山上皇像前」において「11.12地公労・自治労総決起集会」が開催されました。



晴天の秋空の中、主催者発表福岡高教組から14人を含む404人が結集して行いました。まず、主催者を代表して地公労清水雅数議長が「昨今の急激な物価高で、いろんな値段が上がっている。食料品の価格は2年前の1.5倍。実感の持てる給与改善をめざさなければならない。また、若い人たちの公務員離れが進んでいる。職場の環境を変えていかなきゃいけない。ワークライフバランスを重視した過ごしやすく、生活しやすい職場を作っていくため、心合わせの集会にしたい」とあいさつしました。

その後、民主県政クラブ県議団岩元会長や連合福岡藤田会長の連帯のあいさつがありました。

続いて、県職労書記長から団体交渉を前にした決意表明として、「地公労は2024確定闘争において、民間から続いている賃上げの好循環をつないでいく。地域手当の支給率については維持するように当局に追求する。配偶者の扶養手当の撤廃については経過措置を追求していく。そして、年内の差額支給を当局にしっかり確認していく。また、併せて職員の士気高揚につながる改善を求めていく。」と述べました。

最後に、参加者全員で「全職員の士気高揚の改善」「地域手当の支給率の維持」などシュプレヒコールを上げて、集会を閉じました。2024確定闘争も大詰めです。福岡高教組は地公労と連帯しながら、意欲と働きがいの持てる職場を作るために、しっかりととりくんでまいります。